

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成29年7月20日(2017.7.20)

【公開番号】特開2015-231125(P2015-231125A)

【公開日】平成27年12月21日(2015.12.21)

【年通号数】公開・登録公報2015-080

【出願番号】特願2014-116200(P2014-116200)

【国際特許分類】

H 0 4 N 1/41 (2006.01)

H 0 4 N 21/235 (2011.01)

【F I】

H 0 4 N 1/41 Z

H 0 4 N 21/235

【手続補正書】

【提出日】平成29年6月5日(2017.6.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 3】

領域処理部215は、ラベル生成部210から送出された復号画像及びラベリング処理の結果を用いて、該復号画像内のラベル毎の領域に対してカテゴリ(例えば、人物、山、など)の認識を行い、その結果を出力する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 7】

ネットワークカメラ701においてSup er pixel生成部702は、撮影部202から送出された撮影画像に対して、例えば、平均値シフト、領域成長法、分割統合法、グラフベースの手法などの手法を用いて領域分割を行い、分割した領域毎に異なるラベルを割り当てることで、図8(a)に示すようなラベルマップを生成する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 0 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 0 0】

変倍率r倍でリサイズされた画像(復号化部209による復号画像)から選択した選択画素(画素i)と、該画像を第1の実施形態と同様にして分割したそれぞれの矩形領域のうち画素iが属する矩形領域及び該矩形領域に隣接する8個の矩形領域のそれぞれに対応するシードから選択した選択シードと、の間のリサイズされた座標空間におけるユークリッド距離d'sは以下の式(7)で表される。さらに、このとき、リサイズ前の画像に対する距離測度に換算した値が得られるような距離測度Dは以下の式(8)で表される。